

# 事前調査報告書

〇〇〇〇〇〇新築工事

下記の資料を添え、報告します。

## 記

- 1) 事前調査地位置図
- 2) 事前調査箇所案内図
- 3) 事前調査一覧表
- 4) 写真調書（建物等調査図、写真説明書、写真帳）

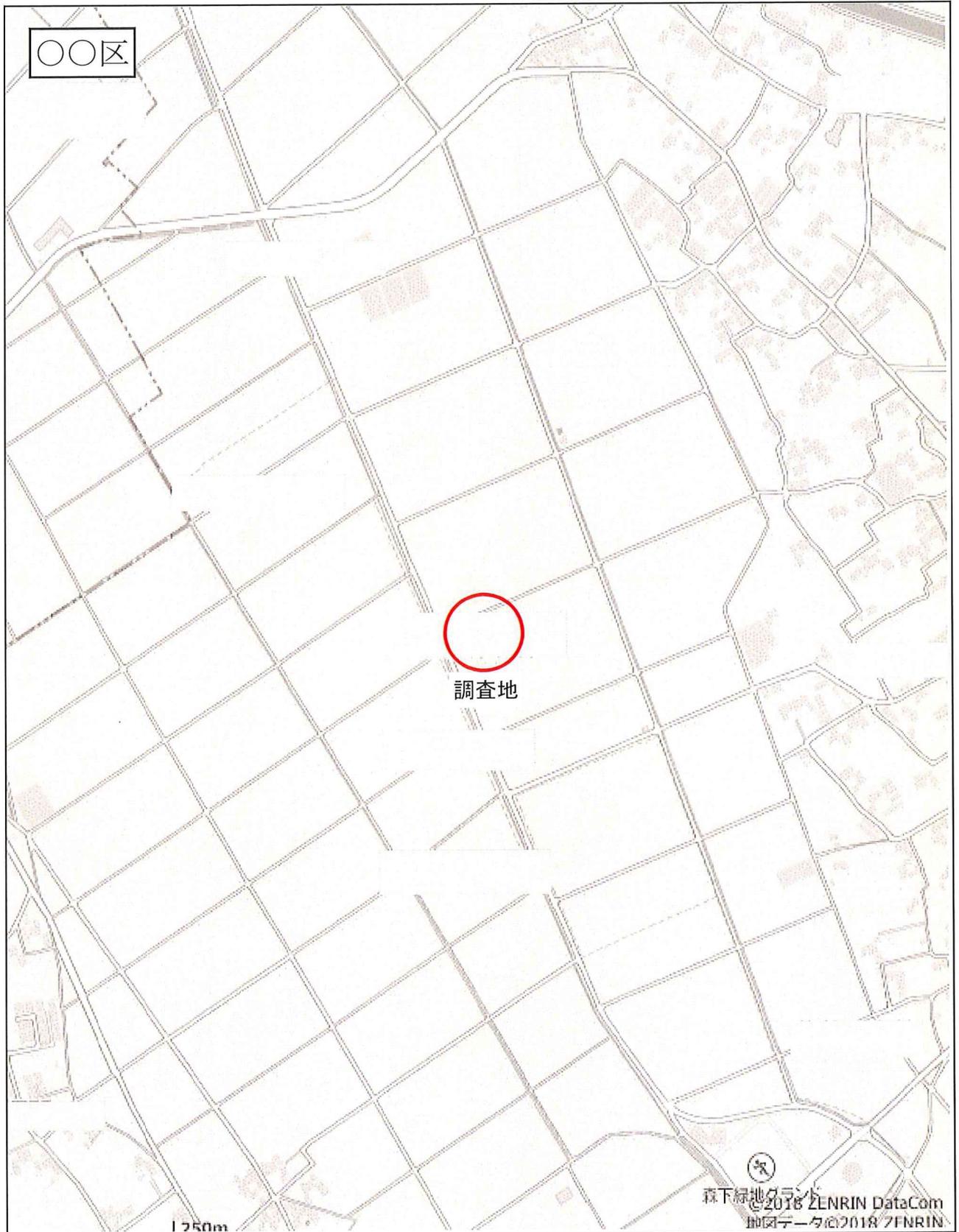
調査担当機関 株式会社 〇〇

TEL

担当  
調査員

工事に関する為のものであり、撮影した写真及び資料等は  
他にいかなる利用もしない事を約束します。

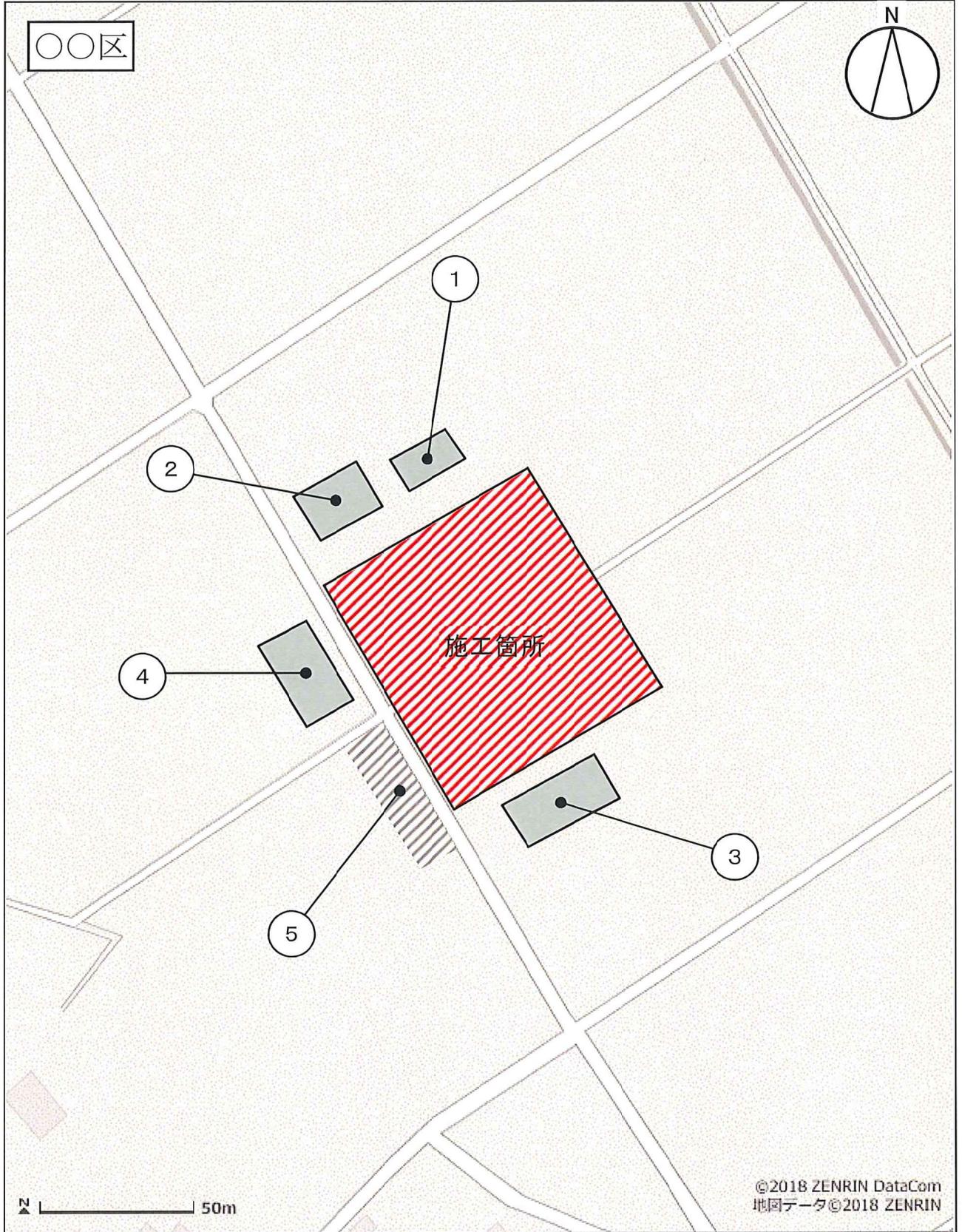
# 調査地位置図



# 事前調査箇所案内図

○○○○○○新築工事

施工 ○○○○建設



# 事前調査一覧表

〇〇〇〇〇〇新築工事

家屋 番号	物件所在地	所有者氏名 電話番号	使用者氏名 電話番号	用途種別	構造 延床面積(m <sup>2</sup> )	経過 年数	摘要
1	〇〇区〇〇町 1-2-3	〇〇 〇〇 012-345-678	同 左 同 左	専用住宅	木造 2階建 (38.10)	〇年	所有者との打ち合わせによる内部未調査 ( 42 )
2	〇〇区〇〇町 1-2-4	〇〇 〇〇 012-345-432	〇〇 〇〇 012-345-678	共同住宅	R C 3階建 (120.20)	〇年	所有者との打ち合わせによる内部未調査 ( 60 )
3	〇〇区〇〇町 1-2-5	〇〇 〇〇 012-345-678	同 左 同 左	専用住宅	L S 2階建 90.20	〇年	( 65 )
4	〇〇区〇〇町 1-2-6	———— ————	〇〇 〇〇 012-345-678	店 舗	鉄骨 2階建 調査面積 45.45	〇年	使用者との打ち合わせによる内部一部調査 ( 70 )
5	〇〇区〇〇町 1-2-7	———— ————	〇〇〇駐車場 ————	駐車場	工作物 ————	—	( 35 )

# 平面図上の解説

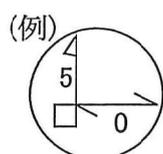
## 1. 亀裂及び基礎亀裂の箇所

- ◁ … 亀裂箇所
- ◁◁ … 基礎亀裂箇所
- < … ハナレ箇所

## 2. 建付隙間測定箇所

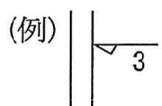
- 上〇〇 … 測定する戸を閉めた状態で上に〇〇mm隙間がある事を示す。
- 下〇〇 … 測定する戸を閉めた状態で下に〇〇mm隙間がある事を示す。

## 3. 柱傾斜測定



引き出した箇所において柱に対して矢印の方向から測定し、矢印の方向に 1000 mm 当り 5 mm 傾斜している事を示す。また、 $\overleftarrow{0}$  は、傾斜のない事を示す。

## 4. 塀傾斜測定



表示箇所において矢印の方向に 1000 mm 当り 3 mm 傾斜している事を示す。

## 5. 写真撮影

- (例) ① → 写真撮影箇所、方向及び写真番号を示す。

## 6. 損傷箇所の測定値について

- W=〇〇 … 亀裂、ハナレ等の幅が〇〇mm ある事を示す。
- L=〇〇 … 亀裂、ハナレ等の長さが〇〇cm ある事を示す。
- H=〇〇 … 亀裂、沈下等の垂直の幅が〇〇mm ある事を示す。
- 線状 … 亀裂の幅が 0.5mm 未満のものを示す。
- 全体的 … 亀裂の長さや本数を測定するのが適当でない状態を示す。
- 全長 … 損傷の長さが、端から端まで、目地から目地まで等、一つの面の長さを示す。
- 網目状 … 亀裂が網目状に広がり長さを測定するのが適当でない場合その状態を示す。

# 柱傾斜測定解説

## ◆ 測定器 ◆

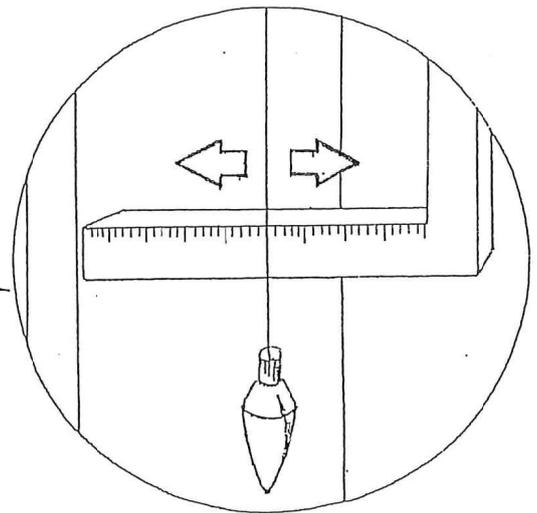
図のような測定器を用いて  
 .....  
 1,000mm 当たりの傾斜量を  
 .....  
 mm 単位で測定する。

## ◆ 測定方向 ◆

原則として床（敷居）  
 .....  
 から 1 m の高さで直行  
 .....  
 する二方向を測定する。

## ◆ 下振 ◆

拡大図



## ◆ 柱傾斜測定時の数値読み ◆

測定値の上端と下端で柱から等距離の場所を

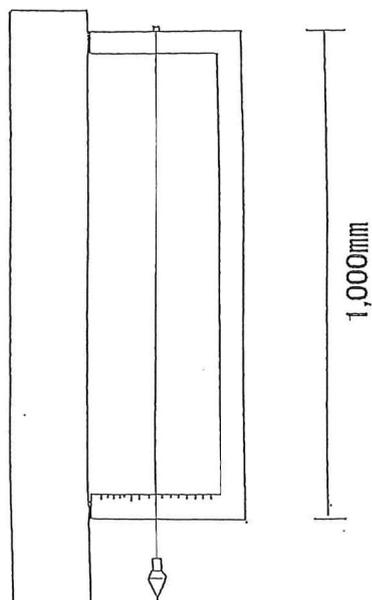
0 として、柱側に 3 mm の場合、 $\frac{3}{0}$  □

柱とは反対方向に 5 mm の場合、 $\frac{4}{5}$  □

と平面図上に表示。

柱等に図の様な測定器をあて上端と下端の

柱から水系までの距離の差を読み取る。



# 家屋調査承諾書

家屋 番号	1	建物 番号	物件所有者氏名 ○ ○ ○ ○
工 事 件 名	○○○○○○○新築工事		
調 査 対 象 住 所	○○区○○町 1-2-3		
調 査 立 会 人 もしくは 調 査 許 可 者	○ ○ ○ ○ 印 _____ ○本人・妻・その他 ( ) TEL 012 ( 345 ) 678		
平成 ○ 月 ○ 日 ○ 午前 ○ 午後 ○ 時 ○ 分			
<h2>未 調 査 部 分 に 対 し て の 確 認</h2> <p>上記工事に伴う家屋事前調査の趣旨は理解しますが、 下記の箇所については、調査を辞退します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1) 建物内部 ○全室</p> <p style="padding-left: 150px;">一階 室</p> <p style="padding-left: 150px;">二階 室</p> <p style="padding-left: 150px;">三階 室</p> <p style="padding-left: 150px;">( ) 以外の建物内部</p> <p>2) 建物外部</p> <p>3) 工作物</p> <p style="text-align: right;">○ ○ ○ ○ 印</p> <p>施工機関 ○○○○建設 殿</p> <p style="text-align: center;">工事に關する為のものであり、撮影した写真及び資料等は 他にいかなる利用もしない事を約束します。</p>			

# 建物等調査書

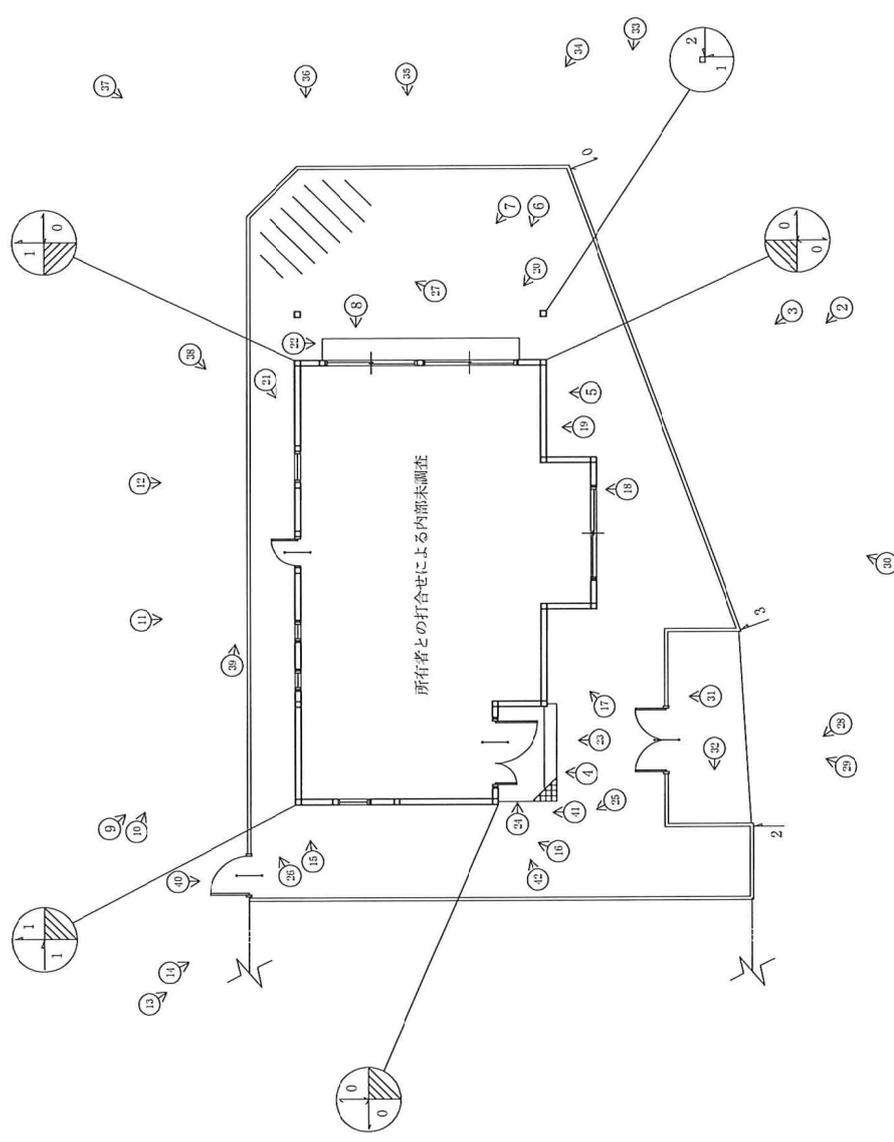
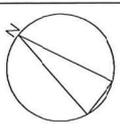
家屋 番号	1	調査年月日		
建物 番号				
物件所在地	〇〇区〇〇町1-2-3			
所有者 住所/氏名/電話番号	物件所在地に同じ		〇〇 〇〇	TEL 012-345-678
使用者 住所/氏名/電話番号	同 上		同 上	
調査立会人 もしくは 調査許可者	〇〇 〇〇 様			
建物の種類	木造2階建	用 途	専用住宅	
面 積	1階	38.10 m <sup>2</sup>	経過年数	〇年
	計	38.10 m <sup>2</sup>		
基 礎	布コンクリート基礎			
屋 根	スレート葺			
外 壁	サイディング			
内 壁	—————			
調 査 員				

工事に関する為のものであり、撮影した写真及び資料等は他にいかなる利用もしない事を約束します。

# 建築物等調査図 (平面図、立面図、展開図、詳細図等)

調査番号	1
建物番号	0000
建物等所有者	0000
012-345-678	

事前調査	調査年月日	平成	年月日	調査者	(印)
事後調査	調査年月日	平成	年月日	調査者	(印)



1階 平面図 S:1/100

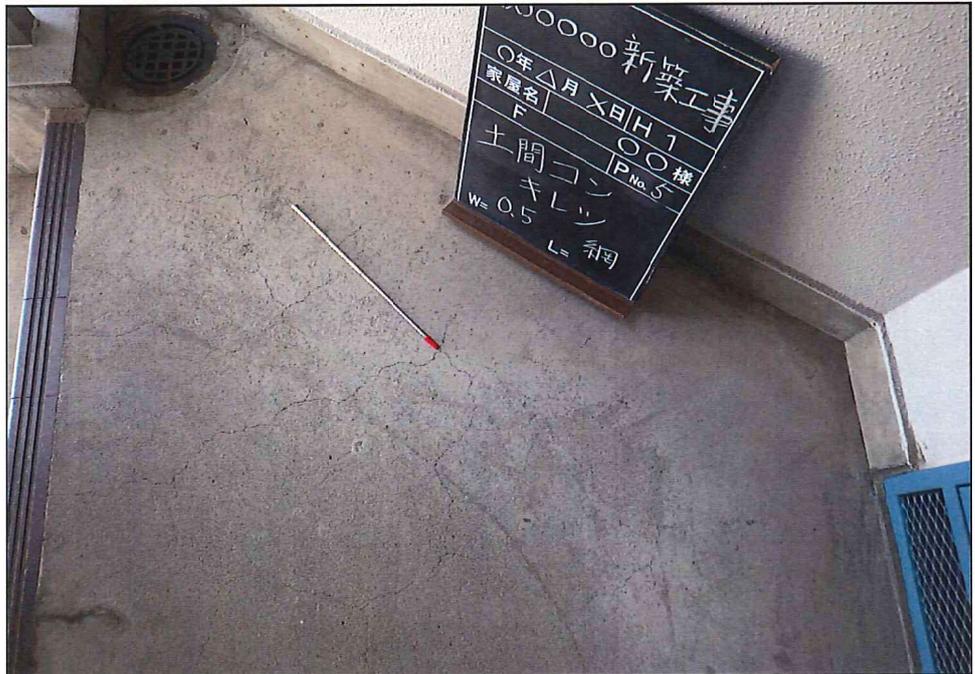
← 工事側 →

# 調査写真

家屋番号	1
調査番号	4
外壁亀裂 線状	



調査番号	5
土間コンクリート亀裂 W=0.5ミリ 網目状	



調査番号	6
幅木亀裂 線状 L=全長	



損傷調査書

家屋番号	1	建物番号	建物等所在地		〇〇区〇〇町1-2-3		事前調査		事後調査		調査年月日	調査員
			物件所在地に同じ	氏名	〇〇 〇〇	電話番号	012-345-678	事前調査	事後調査	調査年月日		
占有者住所	所有者住所に同じ		氏名		同上		電話番号		同上		調査年月日	調査員
構造・用途	木造2階建 専用住宅	建築月日	軒高		面積		(38.10) m <sup>2</sup>					
名称 (室名)	各部 仕上げ材	事前		調査		事後		調査		損傷の状況	備考	
		調査番号	損傷種類	損傷の種類	調査番号	損傷種類	損傷の状況					
全景	1						1					
外部	2	外壁現況					2					
	3	外壁現況					3					
	4	外壁亀裂		線状			4					
	5	土間コンクリート亀裂		W=0.5ミリ	網目状		5					
	6	幅木亀裂		線状	L=全長		6					
	7	基礎現況					7					
	8	基礎亀裂		W=1ミリ	L=全長		8					
	9	基礎亀裂		線状			9					
	10	基礎ハナレ		W=2ミリ			10					
	11	土間現況					11					
	12	土間コンクリート現況					12					
	13	土間コンクリートメジハガレ					13					
	14	塀現況					14					
	15	塀現況					15					
	16	塀亀裂		W=2ミリ			16					